

開催日時:令和2年8月22日(土) 10:00~12:00

中央公民館改築整備基本計画づくり 第1回ワークショップ 意見まとめ

1. 現状について(その1)

意見の区分	意見の概要
①山・自然に恵まれている	<ul style="list-style-type: none">・一番良いのは山が見える。自然に囲まれている。・山や川で遊べるのは自慢できるまちである。・環境の良い場所。・買い物に不便な町だが、緑や山々の風景が失われるような大型開発はやめて欲しい。
②文化的な背景がある	<ul style="list-style-type: none">・かつて芸術家村があったなど、文化的、アーティスティックな背景もある。
③子育てに適した環境がある	<ul style="list-style-type: none">・自然豊かで便利な場所として、子育てする時に来た。・子育て世代が移住してくる点は良い。・子育てしやすい環境にある。・子育てしやすい場所として町を選んでいただいております、その支援は重要だと思う。
④まちが変わってきている	<ul style="list-style-type: none">・自然が減り、住宅だけのベッタウンになってしまうのは悲しい。・田んぼが減っている。・本屋が無くなって、お金がないと行く場所がない。・建物が老朽化している。
⑤まちに居場所がない	<ul style="list-style-type: none">・まちに居場所となる場所がない。・イオンモール、ショッピングセンターに人が集まっているが、人と交流する場がない。・まちなかで人と交流する機会がない。・遊ぶ場所がなく、気軽に立ち寄れる場所がない。・山は行くが、行く場所がない。・発表、自己実現の場がない。
⑥現在の利用について	<ul style="list-style-type: none">・会議等で公民館を利用している。・退職してから利用するようになった。・長寿苑でビリヤード週数回、図書館も利用している。・3市町村で持ち回りの研修会もしている。・趣味で社交ダンスしている。・働いている間は来なかったが、退職して活用させていただいている。
⑦利用が偏っている	<ul style="list-style-type: none">・貸室が中心になってしまっている。・公民館を利用する人はごく一部だと思う。・年配の方が集うイメージがある。
⑧利用されない理由がある	<ul style="list-style-type: none">・公民館を使う機会がない。・夜間の閉館時間が早くて利用しづらい。・若い人たちが昼間働いて、夕方どう使うのか。

1. 現状について(その2)

意見の区分	意見の概要
⑨大ホールが使えない	<ul style="list-style-type: none"> ・活動拠点が公民館だが、使えないと活動が困難になる。 ・ホールがなくなった。 ・ホールとゆめほっぺが使えなくなったのが大きなショックだった。 ・サークル活動していたが、なかなか不便になり魅力がなくなった。 ・発表の場がなくなってきたのかと思う。 ・大ホールの閉鎖について、公民館サークル連合会が失速しつつある。人数もサークル数も減っている。 ・ホールで楽しく活動していたが、使えなくなり、会員が減った。
⑩図書館が不十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・狭くて、子どもが集まりにくい。 ・蔵書数が少なく、書庫も狭くて入れられない。 ・自習室として勉強できるスペースがない。図書室を利用しているが、小さく、少ない。
⑪エレベーターが無い	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターがなく、バリアフリーに対応していない。 ・ボランティア、障害者活動もしているが、階段を上がれない。 ・今は3階の大研修室で練習しているが、エレベーターがなく大変である。
⑫アクセスに課題がある	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルに入って気づいたが、来やすい場所ではない。 ・図書館を利用したいが、行けないという意見もある。 ・アクセスが悪くて、利用しづらい。 ・若いうちは歩いて来られるが、年をとると歩いて来られなくなる。
⑬使用料への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料が高い。趣味で使うが、個人負担が少ない形で使えるようにしてもらいたい。 ・気軽に使えて、費用の負担も少なく活動できると良い。

2. あたらしい中央公民館について(その1)

意見の区分	意見の概要
①まちづくりの一環として考える	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり、まちづくりに活用していく。 ・シビックゾーンの性格を決める施設になる。 ・将来の人口減少や維持管理費を考える必要がある。 ・今ある施設は全て必要であるが、コンパクトな施設となるよう考える。
②大山崎町を代表する資産とする	<ul style="list-style-type: none"> ・誇りの持てる場所になるよう、町の良い場所がみえる、よそから来てみたい場所をつくる。 ・行きたくなる場所にできると良い ・周囲にも塀のない敷地で、気楽に来ておしゃれな場所だと良い。 ・とりあえずサークル活動が出来て、とりあえず形はある公民館ではなく、大山崎町の財産となるような公民館にしたい。 ・子育てをしていて、子どもたちが成長して思い出に残る場所になったら良い。 ・大山崎らしいコンパクトでもキラリと光る施設として、今後の町の見本となる施設として欲しい。 ・大山崎町を代表する場所にしてもらいたい。
③まちに居場所をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・景色がすごく良く、それを見ながらお昼を食べたい。 ・一人で弁当を持ってこられる場所になると良い。 ・お金がなくてもお茶と弁当を持ってこられる場所に、過ごして帰れる場になってほしい。 ・家の外の居場所として、仕事や学習の場所になると良い。 ・気楽に立ち寄れて、おしゃれな場所になると良い。 ・よそから来てみたい場所をつくりたい。 ・自分の子どもたちが将来、戻ってきて集うことを想定して、使いやすい場所になって欲しい。 ・公民館にどの世代であっても、シニアであっても何かあるかなという場所になってほしい。 ・公共のスペース、個人の自分の場所となる。 ・都会では大きなビルの1階を公開空地で公開する例もある。 ・誰でも使える場所が欲しい。
④世代を超えた出会いの場とする	<ul style="list-style-type: none"> ・広い年代に使ってもらう施設にして欲しい。 ・これまでの町の良さを活かして多世代が集まる場にしたい。 ・多世代が気兼ねなく集える場になると良い。 ・若い人は年配の知識や経験を吸収する場、高齢の方も若者とふれあう場としてもらいたい・たくさんの人が集まる場所にしたい。 ・公民館で人と出会って、楽しい生きがいとなる場所になってほしい。 ・知識とコミュニケーションが集積する場だと思う
⑤利用プログラムを重要とする	<ul style="list-style-type: none"> ・重要なのはハードではなくソフトであり、どう集えるかが重要。 ・ほとんど年配の方の利用であり、どう使うかの企画を立てて欲しい。 ・先に予算を決めるのではなく、理想を掲げてそこに向かいたい。 ・主事を置いて職員が常駐する例も、常駐しない例もある。

2. あたらしい中央公民館について(その2)

意見の区分	意見の概要
⑥ コロナ禍でも利用できる公民館とする	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍だけ集える、コロナ禍だから集える空間として、魅力と注目を集めて欲しい。 ・公民館を中心に、ウィズコロナでも集えて、魅力的な場所、財産になる公民館にしたい。 ・3密を徹底し、コロナ禍だから集える空間にしてもらいたい。 ・3密を避ける全ての構造を作っていく必要がある。 ・コロナで活動有無は様々。
⑦ バリアフリー・ユニバーサルデザインとする	<ul style="list-style-type: none"> ・建物を変えるなら、バリアフリーを徹底してもらいたい。 ・エレベーターを設置し、バリアフリーにし、避難した時も安心できる場所になってほしい。役場も近い。 ・赤ちゃんからお年寄り、身体障害者まで使える施設にしてもらいたい。 ・ジェネレーションフリー、ジェンダーフリー(おむつ変えを男性トイレでできない)、バリアフリー(エレベータの設置)が大事である。
⑧ 自由に使える空間を設ける	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自由に利用できるスペースが欲しい。 ・妙喜庵のように仕切りが無い空間が重要である。
⑨ ホールを復活させる	<ul style="list-style-type: none"> ・大山崎ではホールがないので、体育館でしている。大会と被ると中学校を使わず、長岡京で借りた。ホールは必要である。 ・一日も早く公民館を使えるような状態にしてもらいたい。
⑩ 図書館機能を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの住民が集まる広場として、図書館は有意義な場所だと思う。 ・多くの住民が集まる場所になって欲しい。 ・本に出合える機会を作ってもらいたい。
⑪ 新たな機能を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・防音室、喫茶・飲食店、子育て支援室、高齢者の健康増進施設が欲しい。
⑫ 災害時のことを考える	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に安心して避難できる公民館にして欲しい。 ・災害に備えるのは大事だと痛感した。 ・災害に強いまちにしたい。 ・当時避難した時、小学校に図書室があり子どもたちが安心して遊べた。 ・近年の災害の状況から、災害に強いまちにしたい。
⑬ 世代を超えて知恵を出し合う	<ul style="list-style-type: none"> ・若い方の意見が聞けるかなと思って、楽しみに参加した。 ・ワークショップに若い方が来ていて、驚き喜んだ。
⑭ 参考となる事例	<ul style="list-style-type: none"> ・島本町のふれあいセンターが参考になる。 ・滋賀の草津の図書館はすごくおしゃれで、外で食事もでき売店もある。 ・大山崎山荘のように、建物単体ではない魅力が欲しい。 ・紫波町といえばオガール広場、伊万里市といえば伊万里市民図書館というような施設にできると良い。 ・公民館がなくなりコミュニティセンターになる場所もある。